



貴重書

蘭亭

蘭亭序

特別
196

国
2
1854

40. 8. 26
7306531



古今草紙合
一雄富國輝画



紅英堂上梓

国文
24L
43

古今草紙合

雄齋國輝画



甲宮秀竹板
舟拾遺集

南傳馬丁一町目
紅英堂上梓

一雄齋國輝画



下

笠亭仙果著



古今草紙合十編

上

仙果の園に...
 園輝
 仙果
 仙果の園に...
 園輝
 仙果

仙果の園に...
 園輝
 仙果

甲寅新刊繪草帛
 癸丑月脱稿

仙果



仙果
 園輝
 仙果



松竹の山





Vertical Japanese text in the upper left corner of the illustration, likely a dialogue or narrative passage.



Vertical Japanese text in the lower right corner of the illustration, continuing the narrative or dialogue.

Vertical text on the left margin of the page.

Vertical text on the right margin of the page.





正三



▲この上の子をすゝめてえんのまのまの
 〇ゆきつゝかひひけるハキハキ
 ありつゝおはかへんをうとめあけけ
 とのたんぞいおあからりませ
 せんあやとあかかけとごもごあを
 へり、まををかすめとのや
 へり、まををかすめとのや
 へり、まををかすめとのや

▲あつひをわかつた
 まふらんらんらんらんらん
 むんちんちんちんちんちん
 まさ
 久松のまのまの
 ありあり
 まを

▲この上の子をすゝめてえんのまのまの
 〇ゆきつゝかひひけるハキハキ
 ありつゝおはかへんをうとめあけけ
 とのたんぞいおあからりませ
 せんあやとあかかけとごもごあを
 へり、まををかすめとのや
 へり、まををかすめとのや
 へり、まををかすめとのや



雄齋國輝
 笠亭仙果作

▲この上の子をすゝめてえんのまのまの
 〇ゆきつゝかひひけるハキハキ
 ありつゝおはかへんをうとめあけけ
 とのたんぞいおあからりませ
 せんあやとあかかけとごもごあを
 へり、まををかすめとのや
 へり、まををかすめとのや
 へり、まををかすめとのや



草烏合子の説明文



あはれ 草烏合子

あはれ... 草烏合子の効果や用法に関する詳細な説明



あはれ... 草烏合子の効果や用法に関する説明文

あはれ... 草烏合子の効果や用法に関する詳細な説明



Handwritten Japanese text in vertical columns, interspersed with illustrations of two dogs in the lower half of the page.



Handwritten Japanese text in vertical columns surrounding the illustration of the two women.



此の舟に乗りて
 水の中を泳ぐ
 舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで

舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで

舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで



舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで

舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで
 舟の人の心
 水に沈んで

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文



〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文



〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文

〇伯老申あいかいをあらはせど
 申す事なきやうのてと多ききかかろの
 〇アおもひゆきまらかりの白芙蓉
 〇申すけち 曙 富士と申す二十十六文
 〇むらぬありありのそらちう 下代 四十八文



文
図書
年度

文
L
3